

## 実技試験：「音源審査」におけるDVD音源提出方法について

### (1) 実技試験が「音源審査」となる入試区分及び試験場

入試区分	実技試験をDVD音源提出による「音源審査」とする試験場
一般推薦入学試験（B方式）	奄美・那覇（2学外試験場）
一般入学試験（I方式）	鹿屋・奄美・宮崎・熊本・福岡・那覇（6学外試験場）
大学入試センター試験利用入試（R方式）	
大学入試センター試験利用入試（M方式）	

《注意》

注1：作曲コースについては、「音源審査」は行わず、本学試験場及び学外試験場において実技試験を実施する。※実技試験内容等の詳細については93・97ページを参照。

注2：実技試験を本学試験場にて受験希望の者については、本学試験場を選択のうえ、受験できるものとする。

### (2) 「音源審査」におけるDVD提出について

音源提出にあたっては、下記事項を十分熟読のうえ、正しく提出すること。

#### A. DVD音源提出要領

提出の形態	作成上の注意	作成時期	提出部数
DVD-R	<ul style="list-style-type: none"> <li>①92～95ページの実技試験曲目一覧を確認のうえ、実技試験カードに記入した曲目順に、課題曲の演奏を収録すること。</li> <li>②演奏を撮影する場所等については特に定めない。</li> <li>③管弦打楽器の受験生については、無伴奏とする。なお、声楽コースの受験生については、必ずピアノ伴奏をつけたうえで演奏を収録すること。</li> <li>④DVD-Rに標準モードで収録すること。</li> <li>⑤DVD-Rの表面とケースに『入試区分』、『氏名』、『出身高等学校名』、志望する『コース・課程』、『「楽器名」又は「声種』』、『演奏曲目』をそれぞれ記入すること。 (※記入方法等詳細は「B. DVD表面・ケースへの記入事項について」を参照)</li> <li>⑥受験生本人の演奏を収録すること。</li> <li>⑦映像の冒頭に受験生本人（演奏者）の上半身アップ（正面）を5秒間、必ず収録すること。また、演奏時における受験生本人（演奏者）の顔が判明でき、手元等がよく見えるように収録すること。なお、複数曲を収録する場合には、始めから終わりまでを、すべて通しで演奏し収録すること。</li> <li>⑧DVD-Rに記録する際は、PC以外の機器で視聴出来るよう、必ず互換性を維持すること。</li> <li>⑨収録したDVD-Rについては、画質、音質等を必ず確認のうえ、提出すること。</li> <li>⑩提出にあたっては、破損等に十分留意し、適宜エアークッション等で梱包のうえ、出願書類とともに提出すること。</li> <li>⑪提出された、DVD音源については、一切返却しない。</li> </ul>	出願前3ヶ月以内の演奏とする。	DVD-R 1枚

## B. DVD表面・ケースへの記入事項について

「音源提出」にあたっては、受験生本人の演奏を収録したDVD-R（1枚）のDVD表面及びケースに必要な事項を必ず明記のうえ、提出すること。



### DVD表面：記入例

(入試区分)：一般入学試験（I方式）  
 (氏名)：津曲 太郎  
 (出身高等学校名)：国際高等学校

### DVD表面：記入例

(コース・課程)：器楽コース管弦打楽器課程  
 (楽器名)：フルート  
 (演奏曲目)：シャミナード：コンチェルティノー op.107

DVDの表面とケースに  
 記入例を参照のうえ、  
 必ず記入すること。

### ケース：記入例

### 参考 表記について

コース・課程	「楽器名」又は「声種」
器楽コース ピアノ課程	ピアノ
器楽コース ピアノ演奏家課程	
器楽コース 管弦打楽器課程	主専攻とする楽器名
器楽コース 管弦打楽器演奏家課程	
声乐コース	ソプラノ メゾ・ソプラノ アルト テノール バリトン バス